荒屋校下のまいぶんマニュアル

★☆荒屋校下ってこんなところ!☆★

地形/ 荒屋校下は梯川が流れる**平野**にあります。

ここには弥生時代以降、肥よくな水田地帯が広がり、

人々が生活したむらや有力者の住まいのあとなどがたくさん見つかっています。





地形の説明

年表に登場する遺跡/高堂遺跡(高堂町)

おもな時代は**平安時代**。(遺跡の全体では弥生時代〜室町時代までのものが見つかっています)。 教科書の小単元は**「貴族のくらし」**。

ポイント①=古代能美郡の役所や寺など、公的な施設が建てられた場所。

ポイント②=現在の**国道8号線バイパス高堂インター付近**を中心に、小松市と能 美市にまたがる範囲に遺跡があります。

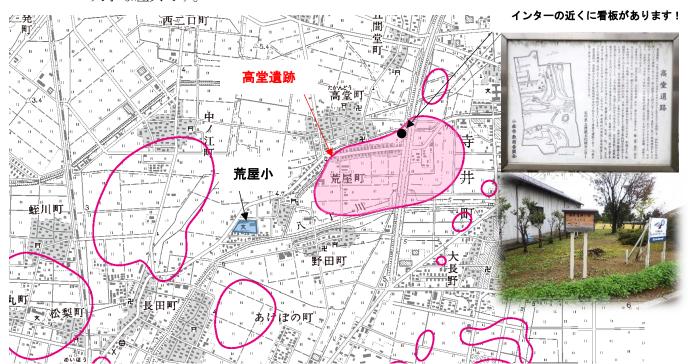


荒屋校下 の遺跡

ポイント③=「**高堂**」という地名のとおり、現地には四角く張り出したわずかな高まりがあります。 ポイント④=発掘調査では、溝に区画された中に10棟以上の建物跡や、**和同開珎**などの**皇朝銭**

(奈良・平安時代に日本に流通した公式な銅銭) が納められた穴が見つかりました。

また溝の中からは、**大**簡や文字が墨書きされた土器もたくさん出土しています。木簡には、**仏教**の力で国をまもることを説いた経典名「金光明最勝王経四天王護国品」と書かれていました。これは、**聖武天皇**の時代に全国に設置された**国分寺**でも唱えられた大事な経典です。



遺跡の位置